

書名	胸の奥にこの花あるかぎり		著者名	平 葉子／著			
出版社	天理教道友社	ISBN	978-4-8073-0655-8	本体価格	¥850	発売	2022/11/1
内容	患者に寄り添い その人にとって最善の看護を尽くせるように。天理よろづ相談所病院「憩の家」。緊迫した医療の現場で“病む人の幸せ”を願い、理想の看護を求め続ける信仰を持つ看護師たち——。著者が心の支えにしてきた、忘れられない看護のエピソードを紹介。患者とともに笑い、泣き、悩みながら成長するようぼく看護師たちのものがたり。『すきっと』で好評連載中の同名エッセー23編(16号～38号)を書籍化！						

書名	一生に一度は参りたい！ 御朱印でめぐる全国の絶景寺社図鑑		著者名	地球の歩き方編集室／編集			
出版社	Gakken	ISBN	978-4-05-801798-2	本体価格	¥2,270	発売	2022/11/4
内容	日本の文化と自然の美しさが調和する、神秘の光景に出合える神社やお寺。全国にある14万以上の寺社のなかから、「一生をかけて参りたい！」感動の絶景寺社を、「地球の歩き方 御朱印シリーズ」編集部が厳選。47都道府県、340寺社以上を美しい写真とともに紹介しています。参拝方法、神社とお寺の違いなど、初心者でもイチからわかる基礎解説も充実。本書を眺めて、旅に出れば、もっと楽しめる。さらにコロナ禍で出かけられなくても幸せになれる……そんな新しい一冊をお届けします。						

書名	明日、シカに会いに行こう 奈良公園で見つけた幸せのかたち		著者名	佐藤和斗／著			
出版社	青菁社	ISBN	978-4-88350-345-2	本体価格	¥1,800	発売	2022/11/16
内容	奈良公園のシカたちを毎日のように取材し、旅行会社や各メディアに作品提供してきたプロ写真家が、シカたちの魅力をもっと知ってもらいたいと制作した「奈良のシカともっと仲良くなる」ための本です。かわいらしい子ジカやイケメンなオスジカの写真はもちろん、奈良のシカに関するあらゆるんちくから、奈良公園の美しい四季と共にシカを撮影するためのテクニックまで、写真と情報がぎっしり。小学校高学年以上で習う漢字にはふりがなをつけ、お子さまも楽しみながら「人と共生する野生動物」への興味を高めることができます。						

書名	古代の刀剣 561		著者名	小池 伸彦／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05961-9	本体価格	¥1,800	発売	2022/11/18
内容	古代鉄刀に代表される直刀から湾刀への変遷を、古代の鉄生産の実態や、正倉院刀の調査を視野に入れ解明。日本刀の源流に迫る。						

書名	奈良時代		著者名	木本好信／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102725-2	本体価格	¥860	発売	2022/11/21
内容	国際色豊かな天平文化が花開く一方で、皇位継承をめぐる政変が相次ぎ、熾烈な権力闘争が展開する。政治と社会が激動した時代を描く。						

書名	万葉考古学		著者名	上野 誠／著			
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-703710-6	本体価格	¥1,800	発売	2022/11/24
内容	近年、あいつぐ古代遺跡の発見。多くの遺跡は、奈良と大宰府へと続く道沿いに点在している。その遺跡や道は、万葉集の舞台でもある。都が置かれた奈良はもちろん、大伴旅人・山上憶良らが活躍した九州では、「筑紫歌壇」ともいべき文芸サロンの花が咲いた。大宰府や松浦などの地名が歌に詠まれるのは、そのためだ。考古学の視点で万葉集を読み解くと、どのような風景が見えてくるのか。都市や交通、境界をテーマとして、第一線の研究者が、今、万葉の世界に迫る画期的な試み。						

書名	遣唐使と古代対外関係の行方		著者名	森 公章／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04670-1	本体価格	¥9,500	発売	2022/11/26
内容	奈良・平安期の対外関係を読み解く上で欠かせない遣唐使。その派遣に際して、朝廷や撰閲家はどのような判断を行い、遣唐使事業は外交政策としていかなる経過を辿ったのか。遣唐使がもたらした文物や人的関係を実証的に分析。さらに遣唐使廃止後、藤原道長の対外政策や平氏政権期の日宋関係についても考察し、古代対外関係史の全体像を究明する。						

書名	やまと尼寺 精進日記 3 ひとり生きる豊穡		著者名	NHK「やまと尼寺 精進日記」制作班			
出版社	NHK出版	ISBN	978-4-14-081922-7	本体価格	¥1,600	発売	2022/11/29
内容	こころ豊かで朗らかな「ひとり暮らし」がここにある。15万部突破のシリーズ最新刊！ 仏につかえながら季節の行事を執り行い、自然の恵みを大切に調理して、保存する。お寺を支える里のひとたちは、時に季節の野菜を持参し、時に本堂の修理を手伝い、進んでご住職をサポートする。そこには、地域のお寺を大切にする人々の信仰心と、それに応えるご住職のホスピタリティがありました。山の上のお寺で年配の女性がひとり暮らしその姿は、老いに対する心構えや、年齢を重ねても丁寧な暮らしをすれば豊かで楽しい日々が送れることを、私たちに教えてくれます。						